



第 1 号

令和6年5月24日発行
北海道札幌伏見支援学校



学校だより

令和6年度の開始にあたって ～学びとサポート～

札幌伏見支援学校長 倉科辰男

GWが終わりました。楽しく過ごすことができたでしょうか？

唐突ですが「イッテQ」のイモトアヤコさんが世界の山々を登る企画を皆さんは覚えていますか？キリマンジェロ・モンブラン・マッターホルン。番組企画で名だたる山々に登頂してきたイモトさん。登山に関しては素人同然だった彼女がどうして制覇できたのでしょうか？

雪で覆われた急斜面を登れるようになるために、かなりの練習をしたことは間違いありません。努力と強風の中を歩き続けられる強い精神力も兼ね備えたそんな彼女をホントにすごいと思うのですが、ある時「すごいのは彼女だけではない」と気づきました。それは、彼女を取り巻くスタッフ達のことです。

素人が世界の山を次々制覇するには、入念な準備が不可欠なはず。きっと登山の専門家や、医師、ポーター、カメラマンといった人々が彼女の支援にあたったのだと思います。彼らの使命は、彼女のチャレンジを安全に成功させること。テレビ番組ですから、事故があってはなりません。そのための準備とサポートは、スタッフ達の豊かな経験と確かな知識技術によって行われ、その力なくして彼女の登頂成功は実現しなかったのではないのでしょうか。

このように考えているうちに、「これは教育に似ているな」と思います。子ども達には目指したいことがあって、子どもを取り巻く関係者（保護者、先生、地域、関係機関など）はそれを実現できるように環境を整えたり、できるところまでお膳立てをしたりします。特別支援教育においてはそういった配慮は一層重要で、「どうしたらできるか」「どこまでならできそうか」を見立てながら子ども達と関わっていきます。サポートを受けつつも、一歩ずつ山を登るように、一つ一つステップをクリアすることにより、子ども達は自信を持ち成長していくのです。

学習の主体は子ども達自身ですから、子ども達には進んで学ぶことを期待します。決めた目標を達成するために、自ら考え行動したり、日々努力したり、たとえ苦しくても歯を食いしばって頑張ったりする姿勢を持ってほしいと思います。そして、私達はそれを全力でサポートしていきたいと思うのです。

子ども達の主体的な学び（努力）と周囲のサポート。この一年、子ども達の“なりたい自分”を実現するために、皆が一丸となって進める教育を目指していきましょう。



令和6年度1学期の主な行事



5月	24日(金) 遠足(中学部) 27日(月)~31日(金) 個別懇談週間(13:20下校)	6月	27日(木) 参観日(小学部2、5年) 28日(金) 参観日(小学部3、6年)
6月	10日(月)~現場実習(高等部3年) 15日(土) 運動会(小学部) 17日(月) 振替休業日(小学部) 19日(水) 開校記念日 20日(木) 参観日(中学部2年) 26日(水)~28日(金) 見学旅行(中学部3年) 26日(水) 参観日(小学部1、4年)	7月	1日(月) 参観日(高等部3年) 3日(水) 参観日(中学部1年) 8日(月) 参観日(高等部2年) 11日(木) 参観日(高等部1学年) 11日(木)~12日(金) 見学旅行(小学部6年) 17日(水) 進路懇談会(高等部2年) 26日(金) 終業式(全校13:20下校) 27日(土) 夏季休業日~8月25日

※感染症などの状況によっては、上記の予定が変更になることがあります。

～お願いと連絡～

- ・中学部の作業学習で使用するアルミ缶やペットボトル、ウエス用の古タオル・シーツ等の回収を行っています。
- ・高等部の作業では、紙すきの原料となる牛乳パックについても回収をしております。水で軽くすすいで、開いてお持ちいただきたいです。
- ・**学校便りの郵送廃止について**～郵送にて学校便りをお送りしていましたが各方面の関係団体・事業所・個人の方々には、大変申し訳ありませんが、第2号より郵送を廃止いたします。今後はHPにてご覧いただきますようお願いいたします。次号以降の発行予定は、第2号は12月、第3号は3月の予定となっております。

○主な相談窓口(北海道)

名称	所管等	電話番号・メール	受付	概要
子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談)	北海道教育委員会 (文部科学省)	0120-3882-56 0120-0-78310 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、LGBT、性被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。
児童相談所虐待対応ダイヤル「189」	北海道保健福祉部 (厚生労働省)	189 (いちはやく)	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
少年サポートセンター「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45~17:30	いじめ・犯罪等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
子どもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30~17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドラインほっかいどう	認定NPO法人チャイルドライン支援センター	0120-99-7777	毎日16:00~21:00(12/29~1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。
性暴力被害者支援センター北海道(SACRACH さくらこ)	北海道、札幌市	050-3786-0799 または #8891 sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp	平日10:00~20:00 (土日祝、12/29~1/3除く)	子どもや大人が性暴力の被害について相談できます。
こころの電話相談	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556	平日9:00~21:00 土日祝10:00~16:00	様々な悩みを相談できます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。

北海道札幌伏見支援学校 〒064-8514 札幌市中央区伏見4丁目4番21号

電話(011)520-5003 FAX(011)520-5004

※学校行事、学習活動の様子等については学校「Webページ」をご覧ください。

URL: <http://www.fushimishien.hokkaido-c.ed.jp/>

学校Webページ

